

「平成18年度PRTTRデータの概要

—京都府の化学物質の排出量・移動量の集計結果—について

1 排出量・移動量の届出状況

平成18年度の排出量・移動量については、平成19年4月1日から7月2日までに府内の706事業所から届出がありました。業種別及び市町村別に届出状況は表1、2のとおりです。

表1 業種別の届出状況（平成18年度）

業種	届出数	業種	届出数
金属鉱業	0	・武器製造業	0
原油・天然ガス鉱業	0	・その他の製造業	11
製造業	212	電気業	1
・食料品製造業	1	ガス業	0
・飲料・たばこ・飼料製造業	0	熱供給業	0
・繊維工業	12	下水道業	39
・衣服・その他の繊維製品製造業	0	鉄道業	1
・木材・木製品製造業	3	倉庫業	0
・家具・装備品製造業	0	石油卸売業	4
・パルプ・紙・紙加工品製造業	4	鉄スクラップ卸売業	0
・出版・印刷・同関連産業	16	自動車卸売業	1
・化学工業	38	燃料小売業	343
・石油製品・石炭製品製造業	0	洗濯業	2
・プラスチック製品製造業	14	写真業	0
・ゴム製品製造業	2	自動車整備業	36
・なめし革・同製品・毛皮製造	0	機械修理業	1
・窯業・土石製品製造業	12	商品検査業	1
・鉄鋼業	3	計量証明業	2
・非鉄金属製造業	9	一般廃棄物処理業	48
・金属製品製造業	32	産業廃棄物処分業	6
・一般機械器具製造業	8	高等教育機関	7
・電気機械器具製造業	32	自然科学研究所	2
・輸送用機械器具製造業	10	合計	706
・精密機械器具製造業	5		

表2 市町村別の届出状況（平成18年度）

市町村	届出数	市町村	届出数	市町村	届出数
京都市	282	八幡市	24	加茂町	2
福知山市	47	京田辺市	16	笠置町	0
舞鶴市	36	京丹後市	33	和束町	2
綾部市	24	南丹市	17	精華町	8
宇治市	41	大山崎町	9	南山城村	3
宮津市	16	久御山町	20	伊根町	3
亀岡市	33	井手町	2	京丹波町	12
城陽市	20	宇治田原町	8	与謝野町	16
向日市	12	山城町	3	合計	706
長岡京市	13	木津町	4		

注：住所については平成18年4月1日時点

2 集計結果の概要

(1) 京都府内の全事業所及び全物質の届出排出量・移動量

平成19年度に届出のあった環境への排出量は3,239トン、事業所外への移動量は2,433トン、合計は5,672トンでした。内訳は、表3、4及び図1のとおりです。

表3 環境への排出量(3,239トン)の内訳

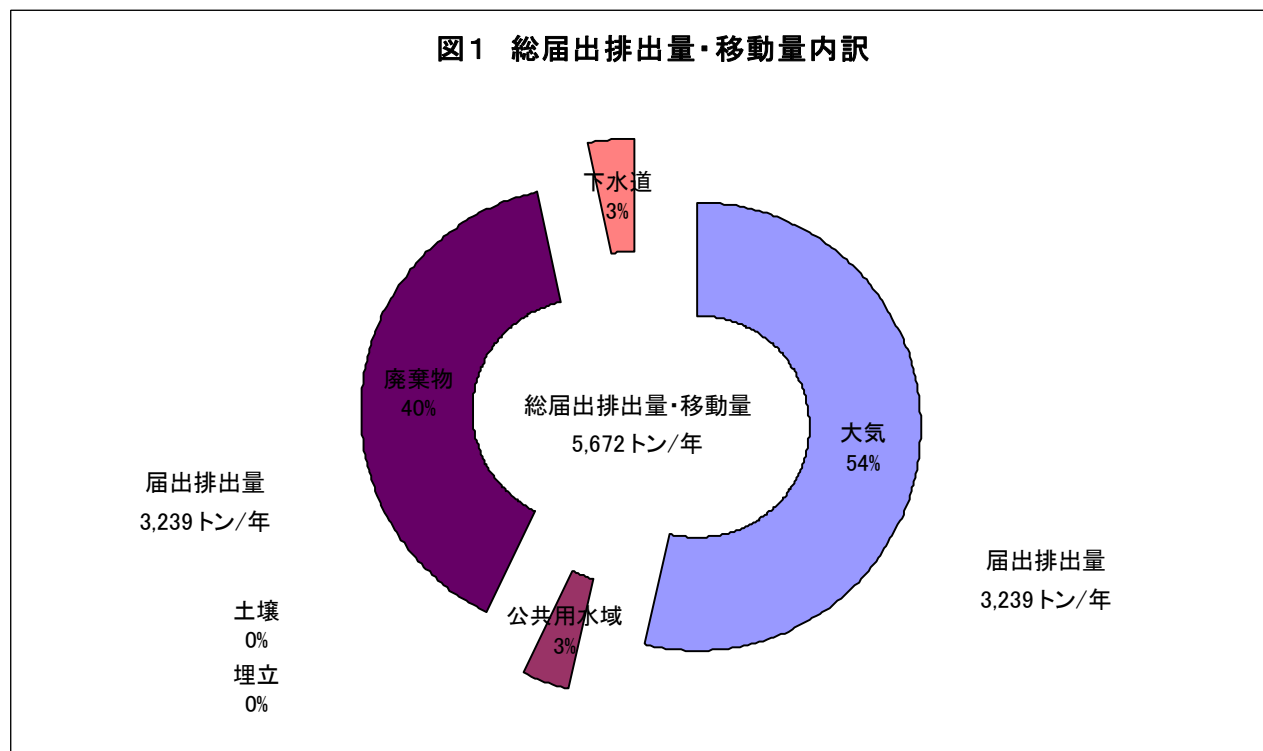
	届出量	構成比	昨年度比	届出量	構成比	昨年度比
大気への排出	3,063トン	54%	-103	216,800トン	46%	-8,513
公共用水域への排出	176トン	3%	+21	10,547トン	2%	-303
土壌への排出	0トン	0%	0	136トン	0%	-98
事業所における埋立	0トン	0%	0	17,909トン	3.8%	-4,371
計	3,239トン	57%	-82	245,393トン	52%	-13,284

表4 事業所外への移動量(2,432トン)の内訳

	京都府			全国		
	届出量	構成比	昨年度比	届出量	構成比	昨年度比
廃棄物としての移動	2,250トン	40%	+93	223,142トン	47%	-5,125
下水道への移動	183トン	3%	-8	2,285トン	0.5%	-403
計	2,433トン	43%	+85	225,427トン	48%	-5,529

※ 構成比は、総届出排出量・移動量の合計全体に対する割合を示す。

※ 数値を丸めているため、合計量と合わない場合があります。以下同様



(2) 京都府内の届出排出量・移動量の多い物質

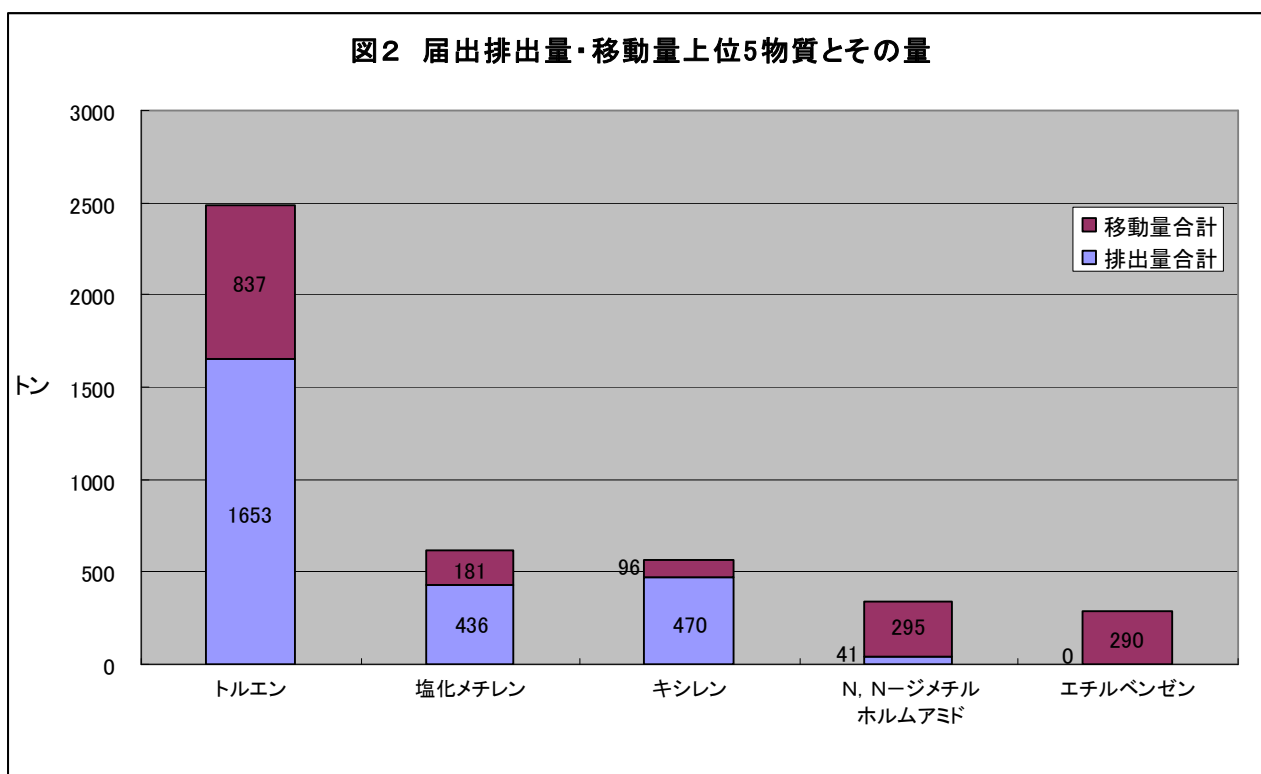
平成 19 年度に届出のあった排出量及び移動量の多い上位 5 物質は表 5 及び図 2 のとおりです。
 上位 5 物質の合計は 4,202 トンで、届出全体の排出量及び移動量の 74%に当たります。

表 5 上位 5 物質の排出量・移動量

順位	京都府			全国	
	物質	排出量・移動量	構成比	物質	構成比
第 1 位	トルエン	2,489 トン	44%	トルエン	33%
第 2 位	塩化メチレン	617 トン	11%	キシレン	12%
第 3 位	キシレン	566 トン	10%	塩化メチレン	6.4%
第 4 位	N,N-ジメチルホルムアミド	336 トン	5.9%	マンガン及びその化合物	6.2%
第 5 位	エチルベンゼン	194 トン	3.4%	エチルベンゼン	4.3%

※構成比は、届出排出量及び移動量の合計全体に対する割合を示す。

図 2 届出排出量・移動量上位 5 物質とその量



(3) 京都府内の届出排出量の多い物質

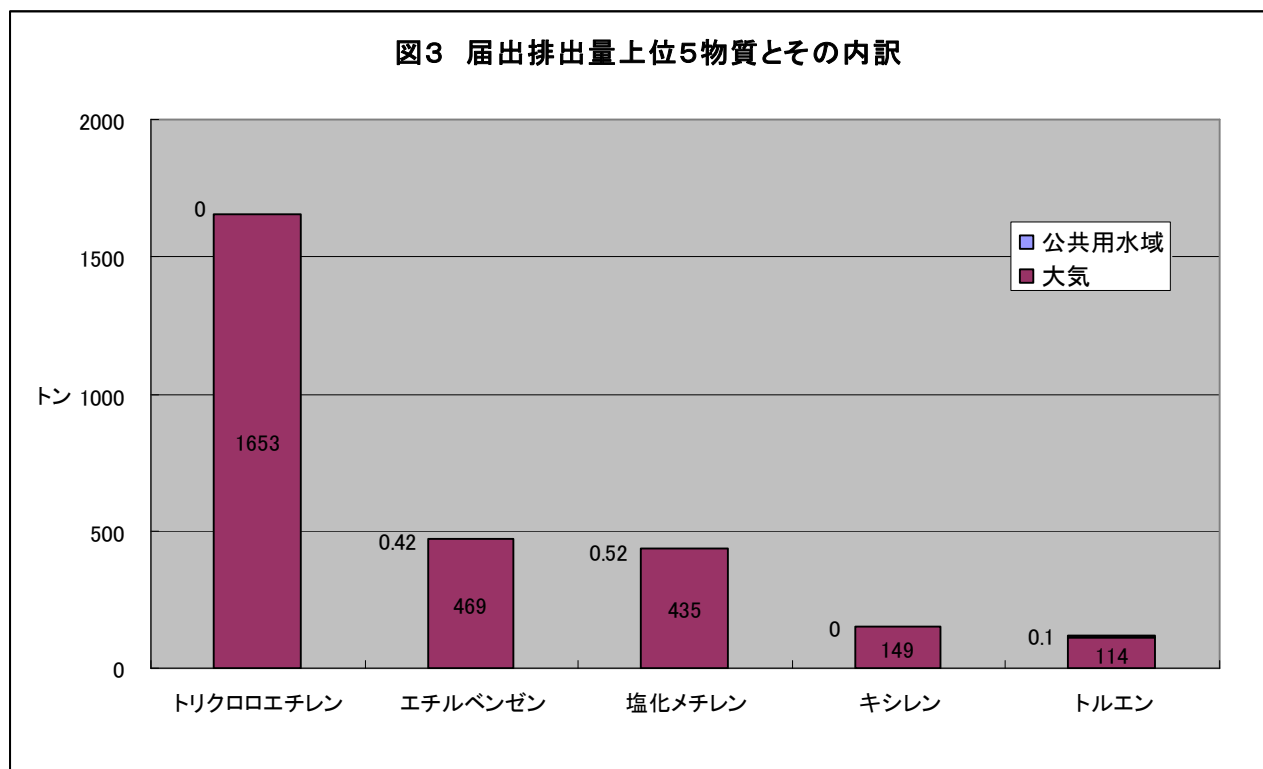
平成 19 年度に届出のあった環境への排出量の多い上位 5 物質については、表 6 及び図 3 のとおりです。

上位 5 物質の排出量合計は 2,822 トンとなっており、全排出量の 87%に当たります。

表 6 上位 5 物質の排出量

	京都府			全国	
	物質	排出量	構成比	物質	構成比
第 1 位	トルエン	1,653 トン	51%	トルエン	42%
第 2 位	キシレン	470 トン	15%	キシレン	18%
第 3 位	塩化メチレン	436 トン	13%	塩化メチレン	8.0%
第 4 位	エチルベンゼン	149 トン	4.6%	エチルベンゼン	6.6%
第 5 位	トリクロロエチレン	114 トン	3.5%	鉛及びその化合物	3.7%

※構成比は、届出排出量の合計全体に対する割合を示す。



(4) 京都府内の届出排出量・移動量の合計の多い業種

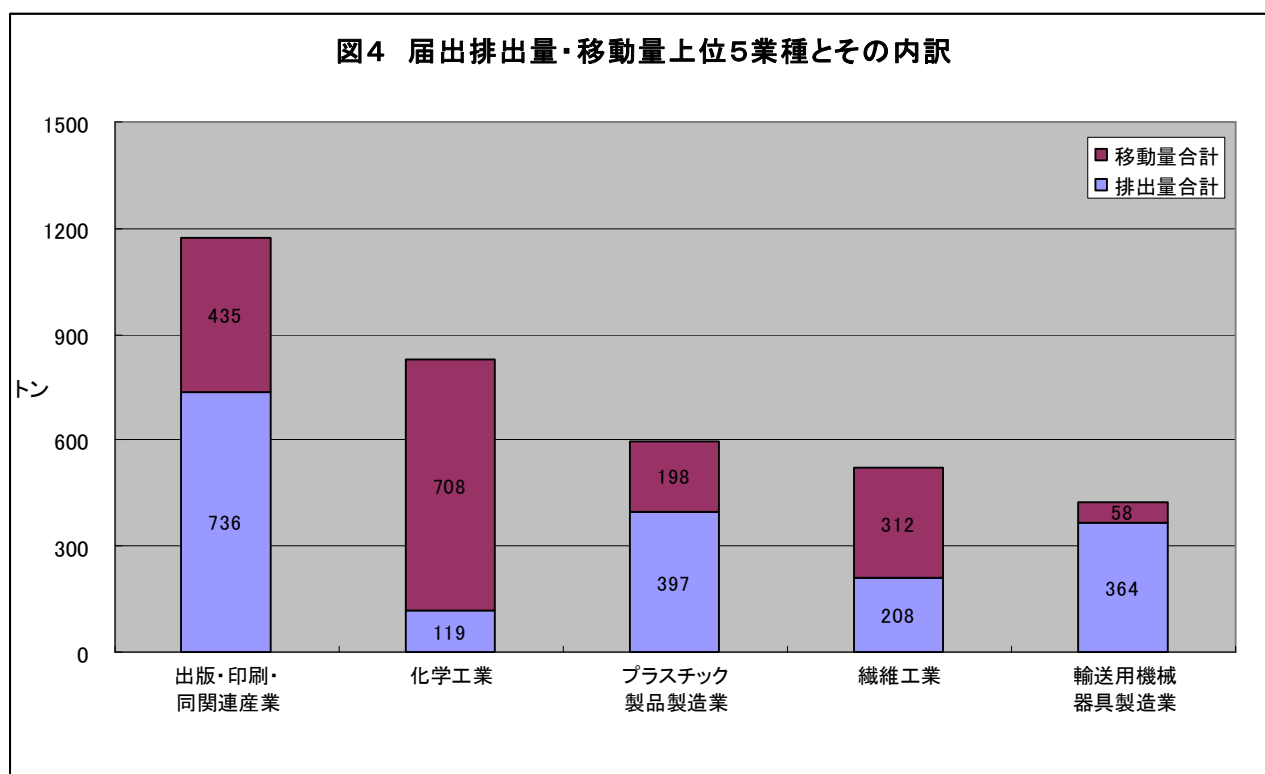
平成 19 年度に届出のあった排出量及び移動量の多い上位 5 業種は表 7 及び図 4 のとおりです。上位 5 業種の合計は、3,535 トンとなっており、全体の 62%を占めます。

表 7 上位 5 業種の排出量・移動量

	京都府			全国	
	業種	排出量・移動量	構成比	業種	構成比
第 1 位	出版・印刷・同関連産業	1,171 トン	21%	化学工業	27%
第 2 位	化学工業	827 トン	15%	輸送用機械器具製造業	13%
第 3 位	プラスチック製品製造業	595 トン	10%	プラスチック製品製造業	9.3%
第 4 位	繊維工業	519 トン	9.1%	鉄鋼業	7.9%
第 5 位	輸送用機械器具製造業	423 トン	7.5%	金属製品製造業	5.8%

※構成比は、届出排出量及び移動量の合計全体に対する割合を示す。

図 4 届出排出量・移動量上位 5 業種とその内訳



(5) 京都府内の届出排出量の多い業種

平成19年度に届出のあった排出量の多い上位5業種は表8及び図5のとおりでした。
 上位5業種の合計は2,033トンで排出量全体の63%を占めます。

表8 上位5業種の排出量

	京都府		全国		
		排出量	構成比	構成比	
第1位	出版・印刷・同関連産業	736トン	23%	輸送用機械器具製造業	20%
第2位	プラスチック製品製造業	397トン	12%	プラスチック製品製造業	12%
第3位	輸送用機械器具製造業	364トン	11%	化学工業	10%
第4位	その他の製造業	308トン	9.5%	非鉄金属製造業	7.6%
第5位	窯業・土石製品製造業	228トン	7.0%	金属製品製造業	7.3%

※構成比は、届出排出量全体に対する割合を示す。

図5 届出排出量上位5業種とその内訳

